

高校2年 学年通信 No.2

2019年4月26日

惜春の候、皆様におかれましては、ますますご壮健のこととお喜び申し上げます。また、平素は学校活動に多大なご理解とご支援を賜り、感謝申し上げます。

授業が始まり、二週間が経過いたしました。「2年生では気持ちを新たに頑張ろう」と思っている生徒も多いと思います。実際に今年度の新たな授業担当者から、「前向きに頑張っている生徒が多いですね。」との言葉を多くいただいています。今のフレッシュな気持ちを持ち続け、日々の取り組みを充実させてもらいたいと願っています。

今回は、

○『探究』に関する講演(4/17(水))

○新入試を見据えたこれからの行動

○2年生スタート時の学習習慣と成績アップの関係

についてまとめました。それぞれの生徒の学習習慣と比較しながら、これからどのような点に気をつけていけばよいかを共有するきっかけにいただければと思います。

『探究』に関する講演 (4/17(水))

講師:岡本尚也(一般社団法人Glocal Academy 代表理事)
(紹介)社会や学術における諸課題を研究的手法を用いて解決する事を目的とし、後進の育成やそれらの課題に取り組む個人及び企業・団体を支援している。



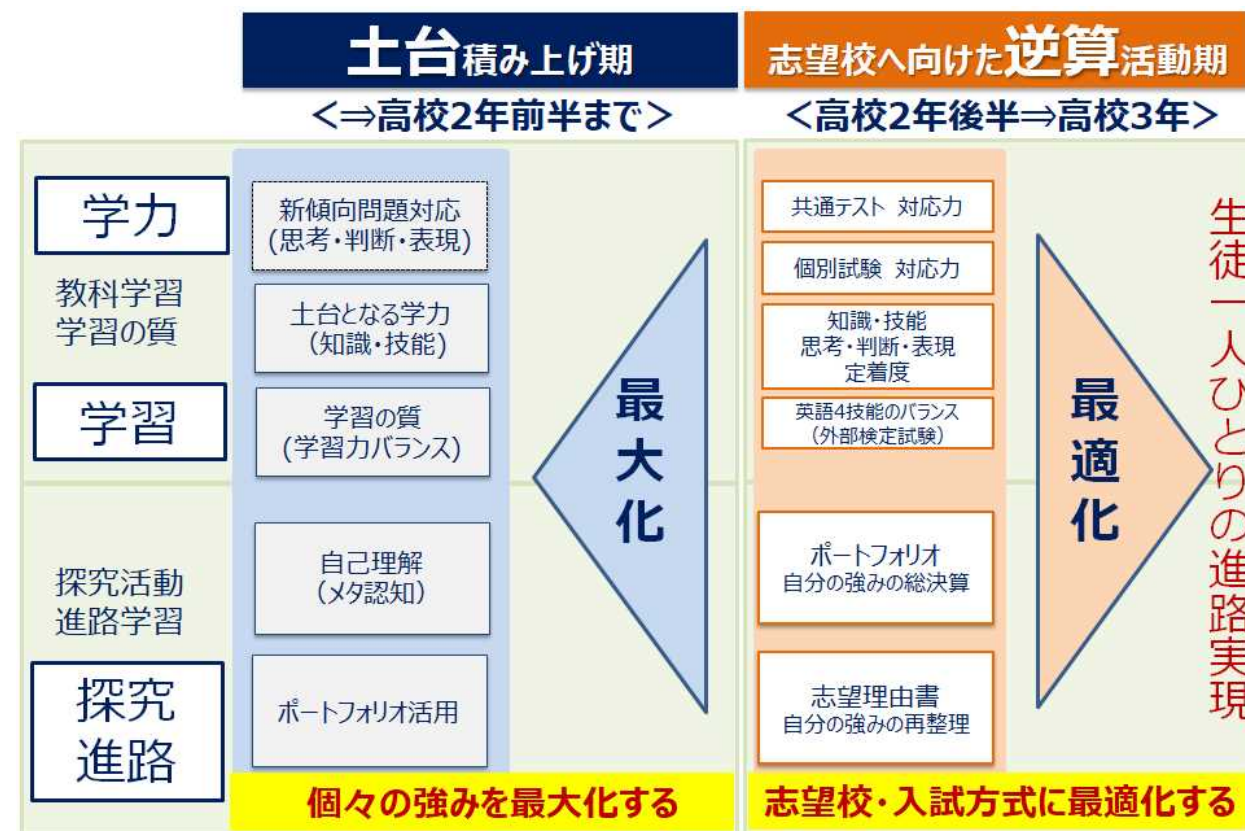
講演は、講師と生徒がやりとりをするなかから重要と思えるテーマを語っていくという形式で行われました。最初はなかなか声をあげづらい様子もありました。しかし、「海外では意見を主張しないとそこにいないのと同じと評価されてしまう」などの言葉が刺激となり、講演がすすむにつれて手が多く上がるようになりました。最後の質疑応答の際には、時間いっぱいまで質問が続き積極的な様子が見て取れました。

講演後、岡本氏から「いい目をしている生徒さんがたくさんいますね。壇上から見るとそれがすぐにわかります。これまで講演してきたなかでも、かなり上位クラスの意気込みを感じました。」との感想をいただきました。

“自分の問題意識から社会の問題点について、自分なりの切り口で探究していくことは、仕事や研究でも必要な力になる。”

この一年をかけて取り組む探究活動をきっかけに視野を広げて、社会と自分自身をつなぐ時間にしてもらえたらと願っています。

新入試を見据えたこれからの行動



高校2年生における進路目標として「志望校の明確化」をあげています。自分と志望校のマッチングは意識しながらも、土台となる学力をつける日々の学習は欠かすことはできません。それに加えて高校2年生の後半に入ったときに、自分の選択肢が広がっているかどうかは、高校1年生と高校2年前半の積み重ねがどれだけできていたかにかかっています。今できることを、先の進路から逆算して取り組みを継続してもらいたいと思います。

そのうえで「新傾向問題対応」「探究活動」「ポートフォリオ活用による自己分析」をすることによって、より自分自身が磨かれていきます。

高校生活の全てが、自分を高めるチャンスである。

という意識でいることが、生活を充実させることにつながるはずです。



高2学習のポイント

成績がよかった人・よくなかった人の2年生スタート時の学習習慣

データは、2018年度スタディーサポート2年生第1回全国集計結果より。「成績◎」はGTZ(学力)：S1～S3(難関大合格レベル)、「成績▲」はD1～D3(基礎・基本養成レベル)の生徒の平均回答率。
※「GTZ(学力)」は、S1～D3の15段階で表示した学力の到達度の指標。
※注目していただきたい点に網掛けをしています。

成績がよかった人

- 平日は2時間以上、休日は3時間以上の自主学習時間を確保している
- 希望進路が決定している
- 部活動と学習の両立ができています
- 古文・漢文は予習中心の学習をしている
- 数学は宿題・復習に必ず取り組んでいる
- 英語は予習中心の学習で、毎日1時間以上を確保している

成績がよくなかった人

- 自主学習時間は1時間未満
- 進路が未定で、進路研究を先送りしている
- 教科に対して不安感を持っている
- 古文・漢文の予習・復習など、自主学習をしていない
- 数学は、問題演習をあまり行っていない
- 英語の予習をしておらず、学習時間をほとんど確保できていない

各教科の成績アップのヒントとなる学習習慣

英語

成績アップのヒントとなる学習習慣

- 英語の平日の自主学習時間
- 英語の授業の予習への取り組み
- 英語の自主学習内容
- 英語の授業理解度

□英語の平日の自主学習時間 (単位：%)

選択肢	成績◎	成績▲
ほとんどしない	18.6	63.5
30分	33.9	24.1
1時間	30.2	8.1
1時間30分	10.6	2.3
2時間以上	6.6	1.5

□英語の授業の予習への取り組み (単位：%)

選択肢	成績◎	成績▲
教科書の本文を声に出して読む	5.3	5.8
新出の単語や熟語を辞書で調べる	22.0	14.0
本文を要約しておく	2.5	4.3
本文を訳している(または訳を考えている)	23.9	6.1
わからない文法事項を参考書などで調べる	4.2	2.0
本文をノートに写し授業で書き込むよう準備	5.1	5.5
教科書のリスニングCDを聞く	0.8	0.5
予習用のワークブックやプリントに取り組む	12.1	7.7
その他	5.8	16.6
予習しないよう指示されている	1.1	0.3
予習はしていない	17.0	36.4

成績アップのヒントとなる学習習慣は、学習時間と予習への取り組みです。

成績がよかった人は平日1時間以上の学習をしており、本文の訳を考えるとところまでの予習をしている人が多くなっています。一方、成績がよくなかった人は予習をしていない人が目立ちます。

学習時間を確保し、毎日の予習をきちんと行うという基本的な学習習慣を再度見直すことが大切です。

数学

成績アップのヒントとなる学習習慣

- 数学の休日の自主学習時間
- 数学の宿題・授業の復習への取り組み
- 数学のすぐには解けない問題への対応
- 数学の授業理解度

成績アップのヒントとなる学習習慣は、学習時間と宿題・復習への取り組みです。

成績がよかった人は、宿題と復習両方に取り組んでいますが、成績がよくなかった人は、復習にはほとんど手が回っていないようです。

宿題や復習に継続的に取り組むことが大切です。

□数学の休日の自主学習時間 (単位：%)

選択肢	成績◎	成績▲
ほとんどしない	11.4	58.9
30分	14.4	20.7
1時間	25.0	12.2
1時間30分	15.0	3.9
2時間以上	34.0	3.9

□数学の宿題・授業の復習への取り組み (単位：%)

選択肢	成績◎	成績▲
宿題と復習は必ずする	48.8	13.0
宿題はしていないが復習はする	4.8	4.2
宿題はしているが復習はしていない	39.9	54.5
宿題は完全にできず復習も手が回らない	2.9	11.1
復習はせず宿題は写させてもらうことが多い	0.9	7.9
宿題も復習もしていない	2.5	8.6

国語

成績アップのヒントとなる学習習慣

- 古文・漢文の授業の予習への取り組み
- 古文・漢文の自主学習内容
- 国語のノートのとり方
- 本や新聞の読み方

成績アップのヒントとなる学習習慣は古文・漢文の学習法です。

成績がよかった人(成績◎)は、予習中心の学習を行い、辞書などを使って全文を現代語訳するところまでの予習に取り組んでいます。一方、成績がよくなかった人(成績▲)は、予習は行わず、試験前の学習のみという人が多いようです。

古文・漢文の学習法について見直してみましょう。

□古文・漢文の授業の予習への取り組み (単位：%)

選択肢	成績◎	成績▲
次の授業で学習する範囲をひと通り見ておく	10.8	12.8
本文をノートに写すが内容は調べない	13.0	13.0
わからない箇所を辞書などで調べておく	17.4	7.0
辞書などを使い全文を現代語訳しておく	30.4	2.7
ガイドや参考書などの現代語訳を書き写す	4.5	2.1
辞書で確認した語句の意味をノートに写す	4.4	3.0
その他	2.5	2.2
予習しないよう指示されている	0.9	3.4
予習はしていない	16.0	53.3

□古文・漢文の自主学習内容 (単位：%)

選択肢	成績◎	成績▲
予習・宿題	34.1	8.8
宿題・復習	12.9	15.4
予習・宿題・復習	15.4	2.9
予習・宿題・復習と自主学習	3.9	0.9
宿題と試験前の学習のみ	20.9	23.2
試験前の学習のみ	4.6	11.6
予備校・塾・通信教育に関連した学習が中心	2.7	0.7
自主学習はしていない	5.1	33.7